



『みなとみらい』の街並。悠々と往き来する水陸両用バス『SKY DUCK(スカイダック)』が、みなとみらい地区の今と昔を紹介する。 撮影:豊田直之

編集長が行く



横浜港編

大岡川自転車探訪

開港記念祭でにぎわう横浜港を目指し、初夏の陽気の大岡川沿いを下ってみた。



異国情緒たっぷりの北仲通北地区の一角。 撮影:豊田直之

シンボリックな街並 『ザ・横浜』の中に垣間みる、数々の歴史の足跡。

春号では、桜まつりのクルーズ船で、そして今回は自転車で、開港記念祭でにぎわう横浜港にやってきた。

見慣れた景色の中、思わず自転車を止めて見上げたのは、日本丸の総帆展帆(そうはんてんぱん…全て

の帆を広げること)の様子。驚いたことに、全てが手作業で行なわれている。訓練を受けた100名余りのボランティアによるもので、時々「わっしょい!わっしょい!」と掛け声が響く。

29枚全ての帆を広げた日本丸の姿は神々しく、か

つて『太平洋の白鳥』と呼ばれたことも頷ける。

この日本丸が係留されている場所が、水が張られた『旧横浜船渠第1号ドック』。そして、すぐ側の美しく整備された公園を進むと、超高層ビル『ランドマークタワー』と一体化して復元された、石造りのドックが現れる。『旧横浜船渠第2号ドック』だ。

中央に降り立つと、爽やかな海風が吹き抜け、神殿

を思わせる石積みの空間が、独特の静けさを湛えている。

江戸城の石垣と同じ石が使われたこの造船施設の完成は、明治26(1896)年。現存する日本最古の石造りドックなのだそう。

みなとみらいでは、本来の仕事を終えた数々の施設が、文化資産として昔を伝え、新たなコミュニケーションの場として再び脚光を浴び、存在感を示している。

都会的な街並の中で、他にも数々の歴史の面影を見つけた。次号以降で、大岡川

河口域を歴史散策し、時の流れに踏み込んでみたいと思う。



国重要文化財に指定された『旧横浜船渠第2号ドック』。プロジェクションマッピングが毎日開催されている。 撮影:豊田直之

昭和27年創業

共栄商事不動産
<http://www.kamiooka.jp>
 【本店】横浜市港南区上大岡西1-19-4
 Tel 045-842-0054/Fax 045-846-3701
 【駅前支店】横浜市港南区上大岡西1-15-1 camio1F
 Tel 045-842-0052/Fax 045-846-3702
 【大久保支店】横浜市港南区大久保1-11-6
 Tel 045-842-0058/Fax 045-842-2206


秋山眼科医院
 akiyama eye clinic
<http://www.hekaton-cheir.jp/akiyama-eyeclinic/>
 横浜市中区尾上町3-28 横浜国際ビル4階(受付) TEL:045-641-9361
 眼科 [月~金]10:00~13:00 15:00~18:00 [土曜]10:00~13:00
 耳鼻咽喉科 [火・水]10:00~13:00 15:00~18:00 [月・木・金]10:00~13:00

まごころ・信頼・サービスをお届けします。

株式会社 横濱屋
 ●業務用酒類卸
 ●スーパーマーケット
 ●お酒スーパー
 ●本社 横浜市港南区宮元町4-93 TEL 045-712-2670
 ●業務用酒類卸(東神奈川営業所)
 横浜市神奈川区千若町2-1 TEL 045-440-6440